

神戸薬科大学 図書館ニュース

No.51
2020.4

Contents

- ① 特集「よむ*かく」
「読む」ということ 臨床薬学研究室 教授 江本 憲昭
「書く」ということ 医薬細胞生物学研究室 教授 土反 伸和
私と読書 元 本学特任助教 迎 武紘
- ④ 薬剤師のためのDI資料34
薬学臨床教育・研究センター
臨床特命教授 渡 雅克
- ⑤ ブックガイド(専門分野別)
がん治療 敵を知ることの重要性
木を見ず森を見よ
薬剤学研究室 教授 大河原 賢一

- ⑦ 受入図書から
- ⑨ 図書館の思い出 ～奥の書庫～
中央分析室 講師 都出 千里
- ⑩ 皆さんにお聞きしました!
「あなたの図書館のお気に入りは何?」
- ⑩ 「アンティーク」な資料を展示しています
- ⑪ 2020年度学術雑誌について・
電子ジャーナル利用状況・お知らせ

図書館から眺める風景

神戸は海と山に囲まれ、その景色が特色の一つに挙げられています。当館も閲覧室からは海側の、自習室からは山側の風情を楽しむことができます。

話題の本を読むとき、最新の情報に触れるとき、勉強に没頭するとき、ふと顔を上げてみれば美しい景色や街並みに心を癒されます。

(2019年11月撮影)

特集

よむ*かく

日々の生活のなかで、上手く情報を得て発信することはとても大切です。身の周りにたくさんの文章が溢れるなか、表裏一体ともいえる「読む」と「書く」ことについて取り上げてみました。

「読む」ということ



臨床薬学研究室
教授 江本 憲昭

文章を「書く」のは嫌いですが、本を「読む」のは大好きです。

私のこの嗜好は幼少期に形成されたようです。私の実家では子供たちは夜20時にはそれぞれ自分の部屋に行くように命じられ、眠りにつくまで一人の時間を過ごしていました。子供部屋には両親が意図したのか、それともたまたま他に置く場所がなかったのか、古今東西の名作が揃った父親の本棚がありました。そのため、漢字もろくに読めない頃から、平家物語や三国志などの古典から夏目漱石や森鷗外などの文学作品、そして江戸川乱歩や松本清張のミステリーに至るまで多くの名作に自然と触れるようになりしました。個人用のテレビやラジオなどなく、パソコンもスマホもない時代で、本でも読むほかには時間のつぶしうがなかったからです。三つ子の魂とはよく言ったもので、以来、常にカバンに本を忍ばせ、時間があれば本を読むという習慣が続いています。

本を読むメリットはどこにあるのでしょうか？メリットのひとつは疑似体験にあると思います。つまり本を読むことで、ストーリーに描かれている世界をあたかも自分が体験したかのように感じることができるのです。

「書く」ということ



医薬細胞生物学研究室
教授 土反 伸和

「先生からの言葉はいつも私の不安な気持ちを溶かし、私ならできると思える気持ちになります。」

研究室の卒業生から、メールの返信でこのような文章もらった。仕事などでの不安や心配をメールで伝えてきていたので、背中を押すような内容を私なりに書いて返信したところ、幸いにも上記のように前向きな気持ちになってくれた。

普段から学生や卒業生、仕事関係の人たちを含め、文章を書いてやり取りをすることが多い。そういった時にいつも思う。言葉・文章は強いし怖い。平気で人を傷つけることもあるし、悲しませることもある。メールや書類など文章として残るものに書く場合は尚更である。こう書いた方がいいかな、など常に思案して文章を書いている。一方、短い一文であっても、その一言で人を励まし頑張る気力を湧かせることもある。上記の卒業生は、自分の未来に向け

例えば、私が学生時代に愛読した山崎豊子の「白い巨塔」では大学病院に勤務する財前と里見という二人の医師を通して異なる医師の生き方・人生観を学びました。また、「不毛地帯」では、太平洋戦争の日本帝国陸軍の超エリートの方、そしてシベリア抑留や戦後に総合商社で日本の復興を支えた人達を知りました。筒井康隆の「大いなる助走」では文壇の世界の賞獲得レースや非日常を疑似体験できました。浅田次郎の「蒼穹の昴」、「中原の虹」、「天子蒙塵」シリーズでは、清朝末期から満州事変・日中戦争に至る歴史に翻弄される科挙の進士やラストエンペラーを含む清朝の天子たちの生涯に思いを馳せました。最近では、恩田陸の「蜜蜂と遠雷」を読んで才能溢れるピアニストの世界観に触れることができました。続いて、音楽つながりで読んだ「ピアニストという蛮族がいる」では著者の中村紘子が天才ピアニストであるだけでなく、豊かな文才を兼ね備えていることに気づかされ、同時に巨匠たちの伝説や奇行に驚かされました。これらの本を読むことで、医師、帝国陸軍大本営参謀、商社マン、小説家、清朝の天子や士大夫、ピアニストなどの多様な人生を疑似体験できた訳です。

人間的に成長し人格に深みを持たせるためには、様々な経験を積むことが必須です。しかし、1人の人間が実際に体験できることには限りがあります。そこで、読書によって自分が実際に体験していないことを疑似体験し、ある程度自分の経験として取り込んでいくという作業をすることで人として成熟することができるのだと思います。

偉そうに書いてきましたが、最近は私もインターネットやSNSに費やす時間が増える一方で、読書量は以前に比べ明らかに減っています。1日に30分でも良いので、子供の頃のように「本でも読むほかに時間のつぶし方がない」状況に強制的に自分を置いて別の世界に沈潜する時間を作ろうと思います。



「白い巨塔」1～5
(新潮文庫)
山崎豊子 著 新潮社



「天子蒙塵」1～4
浅田次郎 著 講談社

ていまでも頑張っている。そんな連絡をもらうと、教員としても一人の人間としても、心から嬉しかったりする。

在学は、メールだけでなく、就職活動での志望理由など様々な文章をこれからも書いていくことと思う。想いを正確に伝え、読み手の気持ちを動かす文章を書くのは難しい。書けそうにないと思う人もいるかも知れない。そのような人にお薦めしたい本がある。

「伝わる・揺さぶる!文章を書く」山田ズーニー (PHP新書) である。この本は、いい文章を書くとはどういうことか、から始まり、どのように考え書けばいいか、読みやすくまたわかりやすく説明してくれている。さらに、実践編と上級編で示される具体例も非常に参考になる。いい文章が書けない、想いをまとめるなんて難しくてできない、と思っている人にこそ、心から読んでもらいたい。きっと書けるようになる。私もこれで文章を書く力が少なからず上達し

た。そして、いい文章を書くことで、その人の将来が広がっていくはずだ。誰かを助ける、力になる一言も増えていかかも知れない。「書く」ということを通じて、その人や周りの人の人生がより豊かなものになっていくことを願う。



「伝わる・揺さぶる!文章を書く」
(PHP新書)
山田ズーニー 著 PHP研究所

特集

よむ*かく

「私と読書」

元 本学特任助教 迎 武紘



これは学生の皆さんに向けた私見です。
まず、『読書をすべき』ということはありません。読書は「異なる意見」であり、変化を望まない生き物にとって「苦痛」です。しかし、進化の選択肢に幅を与えます。なので読むべき時に読み始めればよいと思います。

次に、『若者の活字離れ』ということはありません。日々目にする文字数や求められる情報量は常に増加しています。スマホも教科書も文字でびっしりです。

しかし、概念としての『読書』は不足しているかもしれません。これは相手の意見を相手の文脈で理解することでありベラルアーツとも言えます。平たく言えば共感する

ことです。私たちは今、サイエンスを学んでいます。これは自分の意見を自分の文脈で理解する学問とも言えます。日々の研究と、日々の読書、どこかできつとつながるかもしれない。



「読む」を手軽にする“ KPU電子図書館 ”

図書館では2019年4月より、オンライン上で電子ブックの貸出・返却ができる「KPU電子図書館」をスタートしました。小説をはじめ、就活対策本や旅行ガイドなど外出先で便利なタイトルも充実!いまま続々と追加中です。是非ご利用ください。

利用方法など詳しくは図書館HP、または図書館カウンターまで。

ラインナップ一例

漫画君たちはどう生きるか	マガジンハウス
要点マスター! 面接&エントリーシート 2020年度版	マイナビ出版
夜の果てまで (角川e文庫)	角川書店
理系のためのレポート・論文完全ナビ	講談社
はじめて受けるTOEIC L&Rテスト 全パート完全攻略	アルク



「書く」を身軽に! 「レポートの書き方」コーナー

図書館3階閲覧室には「レポートの書き方」コーナーがあります。レポートはどのように作成すればよいのか、文章はどう書いたらよいのか、Microsoft Officeの使い方は…?

たくさんのアドバイスが詰まった役立つ本を揃えています。レベル別に配置されているので、自分に合ったものを探してみてください。



薬剤師のためのDI資料34

「健康食品・サプリ[成分]のすべて 第6版」

日本医師会/日本歯科医師会/日本薬剤師会(監修) 同文書院 2019

近年、国民の健康に対する関心の高まり等を背景に、様々な「健康食品」が販売されている。健康食品は健康増進目的だけでなく、患者の意思で疾病に対し医薬品と共に使用されている場合も少なくない。そのため、患者や医療従事者から健康食品に関する問い合わせが多く寄せられるが、健康食品の根拠となる情報が少なく苦慮することが多い。

本書は「Natural Medicines」の日本語版である。原典の「Natural Medicines」はアメリカを始めとする世界中の研究者が、健康食品・サプリメントに関する文献を系統的にレビューした成果をまとめたデータベースで、科学的根拠に基づいて、有効性、安全性、医薬品との相互作用、健康食品・サプリメントを含む他の食品との相互作用などをまとめている。このデータベースはFDAをはじめ各国の政府機関や医療機関で採用され、活用されているところである。

日本語版の初版は2006年に刊行されたが、昨年2019年に情報をアップデートし第6版が発刊された。本書の収載項目は成分・素材名、概要、要説、安全性、妊娠中・母乳授乳期の安全性、有効性、使用量の目安、体内の動き、医薬品との相互作用、食品同士の相互作用などであり、項目毎に分り易く簡潔に編纂されている。

最新の知見をもとに収載、情報更新された本書は、その情報の信頼性の高さからこの分野でのゴールドスタンダードとして認められた書籍である。



薬学臨床教育・研究センター 臨床特命教授 渡 雅克

ブックガイド(専門分野別)

がん治療

敵を知ることの重要性 木を見ず森を見よ



薬剤学研究室
教授 大河原 賢一

「敵を知り己を知れば百戦殆からず」

これは、中国の兵法書「孫子」の一節で「向かう相手(敵)と自分を正しく知ること、負けない戦い方ができる」という意味の諺です。最近、がん治療においても、この諺が引き合いに出されることが少なくありません。がんは英語でCancerと呼ばれますが、この語源はギリシャ語で蟹の意味です。蟹が足を伸ばしていくようにがんが広がって行くことに由来しているそうです。あれほど増殖力強いがん細胞ですが、腫瘍組織を切除して細胞レベルにまでバラバラにしてから培養しても必ずしも増殖するわけではありません。近年、がん細胞の増殖にはこれを取りまく微小環境が極めて重要であることが指摘されています。実は、がん細胞は周囲の様々な正常細胞を手懐け、周りに配置し、免疫システムからの攻撃や抗がん剤から自分を守らせたり、己の増殖をサポートさせたり、何と転移の手助けまでさせているのです。このような構造を一括して「がん微小環境」と呼びます。もう少し具体的に説明しますと、腫瘍組織にはがん細胞に加えて炎症細胞、免疫細胞のほか、血管・リンパ管の構成細胞、繊維芽細胞や繊維組織などが存在し、これらが全体として腫瘍微小環境を構築しています。これらの細胞や繊維組織は、最近、悪の親玉として大きな注目を集めている「がん幹細胞」の生存・分裂に必要な場所と微小環境を与え、がん細胞と関わりながらその生存や増殖を制御し、さらには浸潤・転移を制御するという、極めて重要な役割を果たしています。「がんには個性がある」と言われるように、がんをとりまく微小環境もきわめて多様です。また、がんの増殖・浸潤・転移のしやすさは、がん細胞自体のもつ特性のみならず、がん細胞と微小環境との相互関係が深く関わっていることが明らかになっています。ここまで

読み進めた皆さんであれば、がん細胞だけに注目していたのでは、がんという疾病の全体像の把握には至らないことを理解し始めているはず。本稿では、がん微小環境、特にがん細胞と腫瘍組織内血管との関わりについて理解し、「これらの情報を生かして新規治療法を如何に構築するか」という壮大な命題への入り口として、個人的に適当だと思う3つの書籍(と雑誌)を紹介したいと思います。

「血管新生とがんの生物学」

小野眞弓、桑野信彦 著 共立出版

腫瘍組織は、自身の増殖に必要な酸素や栄養分の供給路として、宿主に既存する血管系から分岐した新たな血管網を構築するという非常に巧妙な戦略をとることが知られています。血管新生として知られるこの現象は、がん細胞や血管内皮細胞などの様々な細胞から分泌される多種多様なサイトカインによるシグナルを血管内皮細胞が受け、それに伴い、血管内皮細胞の遊走、増殖及び管腔形成を経て新たな血管が構築されるという一連の過程です。この血管新生は、腫瘍の成長にとって必須の現象であり、さらに原発巣からの血行性転移にも深く関与しているため、腫瘍組織における血管構築を破綻させることにより、腫瘍組織の退縮や血行性転移の抑制が期待できます。現在、がん化学療法における全く新しい作用機序を有した新規治療薬として注目されている血管新生阻害剤は、このコンセプトに基づき、血管形成過程のある段階を特異的に阻害し、血管網の構築を抑制することで、最終的には腫瘍増殖を抑制することを目的としています。本書は、血管新生に関する「いろは」から研究の最前線まで学ぶことが出来る一冊です。

実験医学 増刊 27巻2号「癌と微小環境」

江角浩安、高倉伸幸、宮園浩平、森正樹 編 羊土社

固形がんでは、組織内部の血管網の構造的・機能的な不全のため、正常組織にはみられない低酸素やグルコース飢餓状態などのストレス環境が存在します。このような微小環境は、がんの悪性化や薬剤耐性の原因となることが知られています。一方で、がんに特徴的であるため、治療の良い標的としても注目されており、実際、微小環境の特徴を積極的に利用しようという試みが活発に行われるようになってきています。本書では、腫瘍組織の微小環境が果たす役割について様々な観点から列挙されていますので、この分野について初めて学ぶのに適していると思います。

実験医学 31巻1号「がんのheterogeneity」

藤田恭之、佐谷秀行 企画 羊土社

がんは正常細胞の増殖プログラムに異常が生じたために発生する「細胞の病」であることは周知の事実です。しかし、がんの本質は、発生あるいは進展の過程でその姿を変えていくことであり、診断がついたときの腫瘍塊は、すでに異なった性質をもった細胞の集合体と化しています。こうしたがん組織の不均一性(heterogeneity)は治療を困難にしている最大の障壁であると考えられています。更に、がん細胞と隣接する正常細胞は、互いの性状に大きな影響を与え合い、がんの不均一性を増幅させていると考えられています。このがん細胞を取り巻く正常細胞群の変化は、がん研究のホットなトピックの一つとなっています。本書では「がん細胞自身の不均一性」と「がん周囲の細胞の不均一性」の両者について述べられています。



「血管新生とがんの生物学」
小野眞弓、桑野信彦 著 共立出版



実験医学 増刊 27巻2号「癌と微小環境」
江角浩安、高倉伸幸、宮園浩平、森正樹 編 羊土社



実験医学 31巻1号「がんのheterogeneity」
藤田恭之、佐谷秀行 企画 羊土社

受入図書から



山科正平 著 ブルーバックス 講談社
カラー図解 人体誕生
からだはこうして造られる

遺伝子やタンパク質が作用すると器官に特有の形状や機能が生じるそのメカニズムの解明までには時間がかかりそう。まずは人体誕生からご覧になられては。人体誕生の複雑に見える過程を単純化し、最終の構造となり機能が備わることを理解できるように、分化の仕組みと論理を平易に述べています。記載内容に即した図は、多様な色遣いで明解です。用語やタンパク質、遺伝子の丁寧な解説により、理解しながら読み進めることができます。

(L)

仲野徹 著 晶文社
こわいもの知らずの
病理学講義

病理学と聞くと難しくそうなイメージを持つかもしれませんが。この本では細胞、血液、がんとは何かについて、雑学を交えながら楽しく説明されています。一般の方、近所のおっちゃんやおばちゃんに読ませるつもりで書き下ろしたものとされており、専門用語が出てくるたびにちょっとした解説があるので楽に進めることができます。もちろん私達薬学生にとっても内容は興味深いもので、授業中に聞いたことのある話や、あんなこと話していたなと思いつながりながら読むことができます。

(オムライス)



北野唯我 著 日本経済新聞出版社
天才を殺す凡人
職場の人間関係に悩む、すべての人へ

人は誰もが「自分は特別な存在でありたい」と願っています。だからこそ、理想と現実のギャップに苦しみます。この本では「天才・秀才・凡人とはどんな人なのか?」を違う角度で教えてくれます。天才であることは本当に良いのか、凡人であることは本当に悪いのか、考え方が大きく変わると思っています。同時に自分と合わない人を敬遠するのではなく、理解することができ、他人に対しての考え方も変わる1冊です。

(学生課 向井彰浩)

2019年2月～2020年1月

書名	著(編)者名	出版社
Plasma medical science	Shinya Toyokuni 他	Academic Press
アトキンス基礎物理化学	P. Atkins 他	東京化学同人
分子構造と反応・有機金属化学 第2版 (大学院講義有機化学1)	野依良治 他	東京化学同人
ポルハルト・ショアー現代有機化学 第8版	K.P.C. Vollhardt 他	化学同人
天然物化学	菅原二三男 他	コロナ社
医薬分子生物学 改訂第4版	野島博	南江堂
Essential cell biology 5th ed.	Bruce Alberts 他	W.W. Norton & Company
利己的な遺伝子 40周年記念版	リチャード・ドーキンス	紀伊國屋書店
ゲノム編集実験スタンダード (実験医学別冊)	山本卓, 佐久間哲史	羊土社
植物メタボロミクス	斉藤和季	裳華房
QOLって何だろう (ちくまプリマー新書292)	小林亜津子	筑摩書房
医学統計学ハンドブック 新版	丹後俊郎, 松井茂之	朝倉書店
パートナー機能形態学: ヒトの成り立ち 改訂第3版	岩崎克典 他	南江堂
レーニンジャーの新生化学 第7版	レーニンジャー 他	廣川書店
Biochemistry 9th ed.	Jeremy M. Berg 他	W.H. Freeman and Company
β グルカンの基礎研究と応用・利用の動向	大野尚仁	シーエムシー出版
どんぐり未来塾の薬物動態マスター術 第2版	佐藤コリ, 麻生敦子	じほう
プレジジョン・メディスン	佐藤孝明 他	エヌ・ティ・エス
糖尿病・代謝・内分泌 第5版 (病気がみえる3)	医療情報科学研究所	Medic Media
薬剤師のための臨床検査の知識 改訂7版	笹隈富治子 他	じほう

川上和人 著 新潮社
鳥類学者だからって、
鳥が好きだと思ふなよ。

タイトル通り、鳥類の解説や実施調査のドタバタエピソードが盛り込まれており、かつタイトル通り文章表現がとても個性的で、漫画の小ネタや脱線などもあって終始笑いがとまらない一冊です。全編通して専門的な内容ではありませんが、そのユニークな言い回しのおかげでとっつきやすく、鳥類に関する知識を楽しんで得ることができますよ。読了後、ジェームズ・ボンドがスパイの名前だと思ふなよ、と誰かに教えたくなくなってしまいます。

(教養・社会薬学系研究室 徳永陽)



佐々木典士 著 ワニブックス
ぼくたちに、
もうモノは、
必要ない。

もともとモノを捨てられない人間だった著者は、モノを減らすことで生き方と価値観をおおきく変化させます。その経緯と「もうモノは必要ない」と考える理由について説明しています。必要最小限のモノだけで生活をする「ミニマリスト」というライフスタイルも一般的になってきました。ネット上にあらゆる情報を保存でき、無数のサービスを受けられるようになった現在は「モノを持たない豊かさ」もたしかに感じられやすくなっている、そう思います。

(K・I)

市川哲史 著 垣内出版
逆襲の「ヴィジュアル系」

ヤンキーからオタクに受け継がれたもの

音楽ジャンルでありながら見た目系と称される「ヴィジュアル系(V系)」。様式美にこだわるヤンキー文化から様式美を崩してパロディ化するオタク文化への変遷が分かりやすく書かれています。この(無駄なことに命をかける、誰にも真似できないコンテンツ)そのもののヴィジュアル系に黎明期から向き合ってきた市川氏にしか書くことが出来ない文章は必見です。

—V系は最高のサービス業である。(本文より)
(まさし)



(化学・医学・薬学分野より一部抜粋)

書名	著(編)者名	出版社
新薬剤師のための輸液・栄養療法 第2版	東京都病院薬剤師会	薬事日報社
放射線医学の事典	松本英樹 他	朝倉書店
薬剤師による糖尿病対策ガイド	日本薬剤師会 他	じほう
感染制御学：病原微生物との共存と戦い	児玉典子, 小山淳子	京都廣川書店
Hale's medications & mothers' milk 18th ed.	Thomas W. Hale	Springer Publishing
Harrison's principles of internal medicine 20th ed.	J. Larry Jameson 他	McGraw-Hill Education
がん診療レジデントマニュアル 第8版	国立がん研究センター内科レジデント	医学書院
がん免疫療法とは何か (岩波新書1768)	本庶佑	岩波書店
進化するがん創薬 (Dojin bioscience series32)	清宮啓之	化学同人
妊婦・授乳婦の薬 改訂2版	杉本充弘	中外医学社
学校薬剤師のための学校環境衛生試験法	日本薬学会, 日本薬剤師会	金原出版
図解医薬品情報学 改訂4版 (みてわかる薬学)	折井孝男	南山堂
調剤指針 第14改訂	日本薬剤師会	薬事日報社
基礎からの漢方薬 第4版	金成俊	薬事日報社
【電子ブック】ベッドサイドの薬理学	笹栗俊之, 宮田篤郎	丸善出版
【電子ブック】遺伝統計学と疾患ゲノムデータ解析 (遺伝子医学MOOK33)	岡田随象	メディカルドゥ
【電子ブック】ポリファーマシー見直しのための医師・薬剤師連携ガイド	日本老年薬学会 他	南山堂
【電子ブック】内科学書 改訂第9版	南学正臣 他	中山書店
【電子ブック】認知症と機能的食品	吉川敏一	フジメディカル出版
【DVD】終わりのない生命の物語2:5つのケースで考える生命倫理	丸善出版	丸善出版

奥の書庫

図書館の思い出

私が初めて大学の図書館に足を踏み入れたのは、学部に入学した次の日のオリエンテーションの日であった。3階から入り、中を見学して4階の出入り口から出たが、4階の出入り口はそれ以降一度も使用したことはない。そのときの印象としては、「ふん、ここが図書館かあ…来ることあるかなあ？」だった。子どもころから根っからのテレビっこだ、本を読むのが好きではなかった私は、そんな印象しか持たなかった。

学部学生としての生活が本格的にスタートし、学生実習が始まると私でも図書館に時々お世話になるようになった。レポート提出前はもちろんのこと、実習中も実習室を抜け出し、図書館へ行って調べ物をしたこともあった。とはいえず、年に10回くらいの利用であったと思う。そんな私が図書館に足しげく通うようになったのは、大学院に進学してからである。特に、文献紹介や総説講演前は、図書館に引きこもって、参考文献を探し

ては必要な箇所を探し、そこからまた「孫引き」し、そこからさらに「玄孫引き」（こんな言葉はないが気分的に）して文献紹介や総説講演の準備を進めた。私の大学院での研究分野は天然物の全合成である。有機化学の分野は案外、大昔の論文までさかのぼらないといけないことがある。そして、私の研究分野はまさしくそういった範疇のものであった。そのため当時

1980年以前の論文が蔵書されていた3階の奥の書庫に引きこもるのが常であった。奥の書庫は、夏は必要なき以外はクーラーがついていないので蒸し風呂で、冬はここは外かと思うほど寒かった。しかし、めったに人が来ないのでとても静かで、自分が利用するときはエアコンをつけさせてもらい、いくつもの論文を机に積んで快適に論文検索をしていた。あまりに快適すぎて、こっくりこっくり船を漕いだことも何度もあるが、誰かに見つかることなく研究室には戻れていた。実験がなかなかうまくいかず、図



現在の3階集密書庫(2020年2月撮影)

書庫で打開策を探すのも奥の書庫だった。私にとって、奥の書庫は静かに包み込んでくれる巣穴のような場所だった。図書館の移転が決まり、あの奥の書庫もなくなる日が近づいている。なくなる寂しさはあるが、私の心の中から奥の書庫の情景が消えることはないだろう。

中央分析室

講師 都出 千里



1967年に現在の1号館に図書館が移転してから50年以上が経過しました。1号館の設備老朽化に伴い、本学のキャンパスプランでは図書館の移転が計画されています。そこで、前号に引き続き図書館の記憶を記録として残すべく、当時の思い出を語っていただきました。

皆さんにお聞きしました!

「あなたの図書館のお気に入りとは?」

調査期間: 2019年12月13日~27日 対象: 学部学生47名

Q: 図書館で好きなところ・お気に入りなところは? (複数回答可)



① 集中して自習できる (72%)



② 本がたくさんある・読みたい本がある (35%)



③ 雰囲気が好き (33%)

Q: 図書館でお気に入りの場所は? (複数回答可)



① 第1自習室 (37%)



② 第2自習室 (30%)



③ 3階閲覧室 (15%)

4階閲覧室 (15%)



写真

左上: 3階書庫、右上: 第2自習室
左下: 第1自習室、右下: 閲覧室

4階閲覧室からの風景

「アンティーク」な資料を
展示しています

図書館では1948年の開館以来、長い歴史の中でさまざまな資料を保管してきました。そのうちの一部を展示中です。

(図書館入口)



2020年度学術雑誌について

●新規購読

(電子ジャーナル)

1. Nature Neuroscience (Springer Nature)
2. Science Translational Medicine (AAAS)

●バックファイルの購入

1. Glia 1988-1995年 (Wiley)
2. Journal of Labelled Compounds 1965-1995年 (Wiley)

●電子ジャーナルコンソーシアム参加

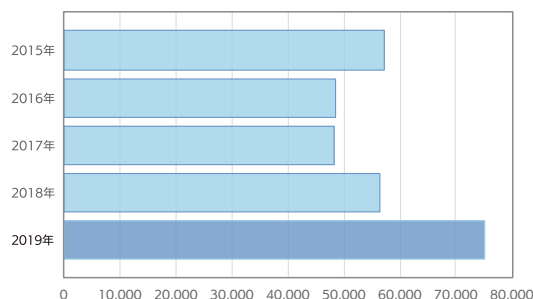
1. American Chemical Society (継続)

2. Oxford University Press (継続)
3. Rockefeller University Press (継続)
4. Royal Society of Chemistry (継続)
5. Science Online (継続)
6. ScienceDirect (継続)
7. Springer Nature (継続)
8. Thieme (継続)
9. Wiley (継続)

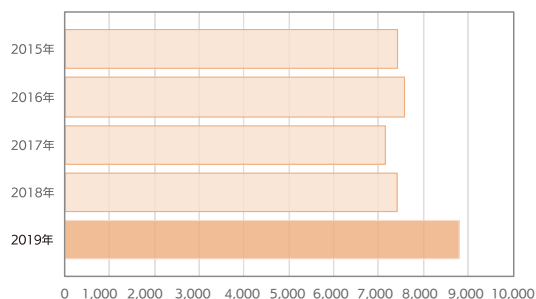
*各コンソーシアムによって、年毎に利用できるタイトルが変更されることがあります。

電子ジャーナルの利用状況と契約タイトル数

フルテキストダウンロード数(件)



契約タイトル数(件)



減少傾向だったフルテキストダウンロード数が再び増加し始めています。

契約タイトル数はエルゼビア社とのパッケージ契約の拡大やバックファイルの購入により2019年に大幅に増加しました。

お知らせ

- 2019年4月より「KPU電子図書館(LibrariE)」のサービスを開始しました。電子ブックの貸出、返却、予約がオンラインででき、自宅や外出先での利用も可能です。(本誌3ページでも紹介)
- 2019年9月に図書館システムを更新しました。
 - ・館内利用者用プリンタの入れ替え
 - ・蔵書検索システム(OPAC)のリニューアル《主な変更点》1. スマホ画面に対応 2. 図書の表紙画像を表示 3. 絞り込み検索機能が充実
 - ・マイライブラリ画面のリニューアル
 - ・業務システムサーバー、クライアント端末の入れ替え
- 将来の移転に備え蔵書の整理を進めています。あわせて資料の電子化も進めています。



神戸薬科大学図書館ニュース No.51

2020年4月1日発行 神戸薬科大学図書館 〒658-8558 兵庫県神戸市東灘区本山北町4-19-1
TEL (078) 441-7512 URL <https://www.kobepharmaceutical-u.ac.jp/library/>